

農作業事故の聞き取りによる詳細調査から得られた事故別対応策

事例

耕うん機で耕うん中、バックで下がったところ、ハンドルがせり上がりそのまま川に転落。(肩甲骨、腰椎骨折ほか・愛媛県 59歳男性)

調査から分かった現場の状況

小型耕うん機で川に直角に作った畝を耕うん中、川を背にしてバックで下がったところ、耕うん機のハンドルがせり上がり、そのまま押し出されるようにして、4m下の川に耕うん機もろとも転落。川と農地境には、わずか40cm幅の道しか確保されておらず、後に余裕がなかった。



現場の写真

心に刻もう

後方に余裕がない場所での耕うん機のバックは危険

自分で今日から取り組もう

- 安全のためギリギリまで畝立てしない。
- やむなくバックする場合は後方の安全を十分に確認する。
- 土が固い場合はキックバックによる制御不能にも注意する。

みんなと一緒に取り組もう

- 落差がある危険箇所に近い畑では、ガケに平行に畝立てするなど作業を進める方向に危険がないよう工夫する。

先人の事故被害を無駄にしないために

ここには、事例に応じた対策を記載していますが、実際には、使用する機械や道具の状態、ほ場や農道の状況によって、現場に応じた様々な対応策が考えられます。地域における農作業事故根絶に向けて、どのような取組がもっとも効果的か、地域の皆様で継続して検討していきましょう。



この他にも農作業安全情報をHPに掲載！

農水省 農作業安全

検索